

開講年度・学期	2017 年度・通年	授業形態	演習
科目名	専門演習（国際経済法）	科目ナンバー	JASEM3303
英語表記	Seminar on International Economic Law	担当教員	平 覚
単位数	4		

科目の主題

WTO（世界貿易機関）の紛争解決事例の分析

授業の到達目標

WTOの紛争解決手続によって扱われた最近の紛争事例の分析を通じて、国際経済紛争の処理にかかわる

実体法上および手続法上の問題を検討してゆく。

授業内容・授業計画

前期は、全員でテーマに関連する文献を輪読して理解を深める。積極的な質問や意見を期待したい。後期は、紛争事例ごとに報告者を決め、事例の報告と問題提起をしてもらい、その後、参加者全員で討議する。報告者は報告内容のレジメを用意すること。

第 1 回	ガイダンスと WTO・FTA 法入門第 1 章 総論	第 2 回	第 2 章 WTO と FTA の関係
第 3 回	第 3 章 物品貿易に関する基本原則	第 4 回	第 4 章 グローバル経済体制における原則と例外
第 5 回	第 5 章 基準・認証制度 (SPS/TBT)	第 6 回	第 6 章 貿易救済措置
第 7 回	第 7 章 農業貿易	第 8 回	第 8 章 サービス貿易
第 9 回	第 9 章 投資・政府調達・知的財産	第 10 回	第 10 章 紛争処理手続
第 11 回	第 11 章 主要国の FTA 政策	第 12 回	第 12 章 開発
第 13 回	第 13 章 日本企業の海外展開	第 14 回	第 14 章 グローバル経済体制の今後
第 15 回	最恵国待遇原則に関する事例分析	第 16 回	関税譲許に関する事例分析
第 17 回	内国民待遇原則に関する事例分析①	第 18 回	内国民待遇原則に関する事例分析②
第 19 回	内国民待遇原則に関する事例分析③	第 20 回	数量制限の一般的禁止原則に関する事例分析
第 21 回	一般的例外①	第 22 回	一般的例外②
第 23 回	一般的例外③	第 24 回	SPS 協定に関する事例分析
第 25 回	TBT 協定に関する事例分析	第 26 回	セーフガードに関する事例分析
第 27 回	アンチダンピングに関する事例分析	第 28 回	補助金に関する事例分析
第 29 回	サービス貿易に関する事例分析	第 30 回	知的所有権に関する事例分析

事前・事後学習の内容

事前：毎回、報告者を決めて報告してもらおうが、報告者以外は、関連資料をよく読んで質問を用意してほしい。

事後：授業で検討した部分をよく復習して新たな疑問点があれば次回ゼミで質問すること。

評価方法

評価は授業への貢献度（報告内容および積極的な質疑応答など）と出席率に大きく依存する。

受講生へのコメント

夏休み中に合宿をしよう。

教材

小林、飯野、小寺、福永『WTO・FTA 法入門-グローバル経済のルールを学ぶ』法律文化社、2016年

松下、中川、清水『ケースブックWTO法』有斐閣、2009年

参考文献：中川、清水、平、間宮（共著）『国際経済法第2版』有斐閣、2012年

その他**履修可能最低年次**

3年次生以上